

グリーフサポートせたがや 2015年度活動報告



活動期間

2015年7月1日～

2016年6月30日

2015年はグリーフサポートせたがやの活動がさらに広がった1年となりました。2014年春に「サポコハウス」を開設し、7月から始めたグリーフサポートプログラムも3年目を迎え、参加者も着実に増えてきました。「世田谷区グリーフケアモデル事業」に引き続き「世田谷区グリーフサポート事業」の事業実施団体に選定され、個別相談や連続講座、情報発信を継続して行う基盤が固まりつつあります。また新たに「世田谷区若者支援事業」を委託され居場所「サポコミュカフェ」の運営も始まっています。サポートプログラム・個別相談・連続講座の3つの接点で、グリーフを抱える人とグリーフサポートせたがやが出会える場がさらに広がりました。

サポートプログラム

子どもプログラム、大人プログラム、パートナー死別ピアサポートプログラムの参加者数は、子どものべ52名、大人のべ135名、参加したファシリテータのべ189名でした。



ファシリテータ養成講座

2015年度は2回のファシリテータ養成講座を開催し、参加者は17名（うちファシリテータ登録は12名）でした。子どもプログラムのファシリテータも徐々に増えてきています。



個別相談

個別相談の来談者はのべ71名（女64、男7）でした。2016年5月から、毎月2回2時間ずつ開催している電話相談はのべ8名（女7、男1）でした。2016年3月末までは世田谷区グリーフケアモデル事業・2016年4月からはグリーフサポート事業の補助により初回は無料です。



いつもご支援ありがとうございます！

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。皆様からの賛助会費やご寄付は、サポートプログラムや、サポコハウスの運営費として大切にに使わせていただいております。

講座・ワークショップなど

全4回にわたる「わたしの気持ちとあなたの気持ち～エモーショナルリテラシーと自尊心を考える～」ほか、グリーフやグリーフサポートにかんするワークショップや講座を開催しました。講座にはすべて手話通訳とノートテイクをつけ、情報保障に配慮しました。連続講座は世田谷区の補助金により保育サービスの提供が可能となりました。連続講座「わたしも大事 あなたも大事」の講演録を発行し情報発信を続けています。



サポコハウスへの訪問者・見学者

グリスアセタがやに興味をお持ちいただき、全国各地でグリーフサポート活動を始めた仲間たち、サポコハウスでの研修を企画して下さった学校教員がサポコハウスに足を運んでくださいました。新聞・雑誌やテレビなどメディアからの取材もありました。

ニューメキシコ州「子どもグリーフセンター」プログラムディレクターのケリーさんもサポコハウスに遊びにきてくださいました。これからも、グリーフサポートの場づくりをともに作り、学び合える個人・団体とつながっていききたいと考えています。



ケリーさん、園田京子さん

サポコカフェ始めました！

おひとりでも、複数でもゆったり過ごせる場です。どなたでもお越しいただけます。

毎月 第3土曜日 午後5時～8時
参加費：29歳まで無料/30歳以上100円
場所：サポコハウス
主催：グリーフサポートせたがや
※世田谷区の若者支援事業です



2015年度決算報告

2015年度収支報告(2015年7月1日～2016年6月30日)

収入		支出	
会費	432,000	グリーフに向き合うスペース運営事業	5,458,370
グリーフに向き合うスペース運営事業	445,200	グリーフに関わる普及・啓発事業	2,873,489
グリーフに関わる普及・啓発事業	617,800	管理費	1,245,599
助成金・補助金	3,511,000		
寄付金	4,571,845		
利息	1,238		
収入合計	9,579,083	支出合計	9,577,458

※グリーフに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。グリーフに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業